

事務事業名	公園改修費								担当課	部課名	都市整備部公園課					
										新部課名						
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	03	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4345

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園緑地内の改修を行うことにより、利用者の利便と安全を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に憩いと潤いの空間を提供する。						
事業目的及び必要性	公園利用者に対して安全で快適な利用環境を提供する。 市民の憩いの場である公園の安全を確保するため、公園内遊具の点検、施設の維持補修工事を実施する必要がある。また、市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークを整備するための手法として、維持管理を充実するほか、公園内の健康遊具を充実することで、中高年の健康づくり等に役立てるとともに、幅広い年齢層の利用を図る。さらに、土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の安全対策を実施することで、公園利用者及び隣接住民等を災害から守る。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等	都市公園法					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 株式会社 シンテン 神奈川支店 他 ) ( 委託等内容 : 公園内遊具の定期点検 他 )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード		本事業は「藤沢市健康増進計画」に位置づけられている。			
健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		4-2-31					
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
まちと自然環境の調和がとれていること		3.5 点	3.52 点	3.5 点	3.61 点		
健康づくりを支える環境が充実しているか		2.96 点	3.1 点	3 点	3.08 点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳			
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
	需用費	29,755 千円	公園施設修繕等	
	229,782 千円	役務費	13,301 千円	フジ管理作業等
	委託料	42,706 千円	遊具点検委託, 法面調査委託等	
	使用料及び賃借料	3,615 千円	奥田公園駐車場管制設備賃借料	
工事請負費	140,405 千円	健康遊具設置工事, 法面对策工事等		
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳			
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容	
	報酬	127 千円	審議会委員報酬	
	148,637 千円	需用費	21,672 千円	公園施設修繕等
	役務費	11,077 千円	フジ管理作業等	
	委託料	3,077 千円	遊具点検委託	
工事請負費	112,684 千円	法面对策工事		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	3.50	3.50	3.50	3.20人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	3.50人工	3.50人工	3.50人工	3.20人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)				0.00人

### 3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	1 公園内遊具268公園1,069基の点検を実施 2 フジのある8施設にて育成管理を実施 3 法面のある1公園にて対策工事を実施 4 健康遊具4公園に10基を増設 等						
	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
成果目標	公園施設の改修率	%	42	48	56	60	
	健康遊具設置数(累計)	基	142	172	195	207	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考
	改修実績件数(累計)	件	34	39	45	48	
	健康遊具設置数(累計)	基	157	181	204	214	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	公園施設の改修率	%	42	48	56	60	
	健康遊具設置数(累計)	基	157	181	204	214	
数値で表せない効果							

### 4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	144,729	184,342	328,484	258,218	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	145,608	184,719	328,454	259,136	
	事業費(支出済額)	111,774	150,992	294,438	229,782	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	33,834	33,727	34,016	29,354	
	①常時勤務職員等の給与等	32,267	32,085	31,994	27,622	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,567	1,642	2,022	1,732	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-879	-377	30	-918	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	-879	-377	30	-918	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他( )	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	39,500	42,700	174,600	142,200	
(3)現金を伴う収入 (千円)	39,500	42,700	174,600	142,200		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	10,000	13,000	14,000	4,500		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他( 起債 )	29,500	29,700	160,600	137,700		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	105,229	141,642	153,884	116,018		
分析指標	項目	公園施設の改修率	42	48	56	60
		F	単位 %	単位 %	単位 %	単位 %
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		3,445,928.57	3,840,458.33	5,865,785.71	4,303,633.33
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		246.15   427,501	329.92   429,317	355.34   433,060	266.63   435,121
受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	公園利用における安全性を確保するため、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要 遊具改修については、老朽化や破損状況に応じて、長期的な視野に立った改修時期の修正が必要 公園内の健康遊具は概ね充足しており、今後、既存の健康遊具の有効活用に向けて周知を進めることが必要 土砂災害警戒区域に位置する公園の法面について安全調査、対策を引き続き進めることが必要
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	公園利用者の安全・安心のため、遊具点検や法面对策工事の実施などにより、継続的な安全対策を推進するとともに、老朽化した遊具などの状況に応じた改修時期の見直しを進める中で、施設改修を行った。 公園内の健康遊具については、健康増進課の実施する事業に協力して利用方法の周知を進めた。 土砂災害警戒区域に位置する公園の法面については、現地調査が未実施であった法面の専門家による調査を実施したことに加え、法面对策工事を行ったことにより、継続的な安全対策を推進した。
(3) 令和2年度末時点の課題	公園利用者における安全性を確保するため、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要 遊具改修だけでなく、施設改修については、老朽化や破損状況に応じて、適宜、長期的な視野に立った改修計画の修正が必要 さらに、土砂災害警戒区域に位置する公園の法面について定期的な安全確認を行うとともに、計画的に対策を進めることが必要
(4) (3)解決のための今後の取組	公園利用者や近隣住民の安全・安心のため、遊具点検の結果等に基づき、適宜長寿命化計画の見直しを行った中で改修を進めるとともに、老朽化が進むトイレや管理棟などの施設についても、計画的な補修や改修を行う。 また、土砂災害警戒区域に位置する公園の法面の定期的な安全確認を実施するとともに、計画に基づき対策を進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	④ 事業費…令和2年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満	
	⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満	
	⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	
	(2) 財政的な特徴		
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性

3. 施設等維持管理	
------------	--

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<p>遊具及び施設の老朽化が進んでいる。          少子超高齢化が進むとともに、公園利用者の年齢層及びニーズが変化している。          公園利用者の年齢層及びニーズの変化による施設の更新が求められる一方、より長く安全に使用し、利用促進・有効活用が図られる対策が必要となってくる。</p>	
	<p>公園施設長寿命化計画については、神奈川県内16市2町において策定されている。</p>	
市民ニーズ	把握方法	<p>公園課への直接の要望だけでなく、地域に密着し、市民活動を支える業務を担う市民センター、公民館への苦情・要望をもとに、市民ニーズの把握を行うとともに、必要に応じて要望者と直接面談し、詳細に要望内容の聞き取りを行った。          また、公園パトロール及び公園管理業務の受託者からの報告により状況の把握を行った。</p>
	把握内容	<p>公園の遊具やフェンスなどの施設の老朽化による破損の補修や、樹木の剪定、伐採作業等</p>
	対応等	<p>要望確認や遊具点検、現地の確認結果に基づき、施設の補修や更新、樹木の剪定、伐採作業を行った。</p>

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>公園遊具の安全点検を行い、公園の遊具や施設の改修を進めることで利用者の安全・安心が向上した。          市の花「フジ」の適切な育成管理を実施し、花の質の向上を目的とした維持管理に取り組んだ。          健康遊具の増設により、公園を健康増進の場として提供することに寄与した。          土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の対策工事を実施し、安全性向上が図られた。</p>	
	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	<p>令和2年度をもって、重点事業であった公園に健康遊具を設置する事業は完了した。          令和3年度からは、土砂災害警戒区域に指定された公園において、豪雨や大型台風等の自然災害への対策強化を図るため、新たに重点事業に位置付けて推進する。          法面の定期的な安全確認に取り組むとともに、緊急性のある法面から順次計画的に対策を講じ、公園利用者や近隣住民を災害から守る。          遊具点検等に基づく計画的な遊具改修の継続的な実施に取り組むとともに、老朽化が進むトイレ、管理棟などの建築物についても計画的に補修を行うことで、公園利用者の安全や利便性の向上に寄与し、事故防止を図る。          公園ストックの老朽化は今後もさらに進むことから、長寿命化を進めると同時に、地域ニーズに合わせた公園ストックの再編成・再整備を行い、将来に向けて施設の適正管理と維持管理費の抑制を検討していく。          市の花「フジ」の適切な育成管理を行い、拠点づくりとネットワークの形成に取り組む。</p>	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
8	都市公園の新設及び改良工事の執行について	無	無	3	3
13	都市公園の維持管理業務委託に関すること。	有	有	3	3
14	都市公園の修繕等に関すること。	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公園改修費(繰越分)								担当課	部課名	都市整備部公園課					
										新部課名						
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	03	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4345

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園緑地内の改修を行うことにより、利用者の利便と安全を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に憩いと潤いの空間を提供する。						
事業目的及び必要性	公園利用者に対して安全で快適な利用環境を提供する。 市民の憩いの場である公園の安全を確保するため、公園内遊具や施設の維持補修工事を実施する必要がある。 さらに、土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の安全対策を実施することで、公園利用者及び隣接住民等を災害から守る。						
対象	1. 個人	市民				435,121	人
根拠法令等	法律等	都市公園法					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )						
	<input type="checkbox"/> その他 ( )						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		4-2-31		本事業は「藤沢市健康増進計画」に位置づけられている。			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
まちと自然環境の調和がとれていること		点	点	点	3.61 点		
健康づくりを支える環境が充実しているか		点	点	点	3.08 点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	工事請負費	127,089 千円	遊具改修工事, 法面对策工事
	127,089 千円		
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	賃借料	300 千円	トイレ改修に伴う仮設トイレ賃貸借料
	39,125 千円		
	工事請負費	37,994 千円	トイレ改修工事
	負担金補助及び交付金	831 千円	トイレ改修に伴う水道負担金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※				0.30 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)				0.00 人工
非常勤職員				
合計	0.00 人工	0.00 人工	0.00 人工	0.30 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)				0.00 人



3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	1 3公園8基の遊具の改修を実施 2 法面のある緑地1箇所にて対策工事を実施						
	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
成果目標	公園施設の改修率	%				60	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考
	改修実績件数	件				48	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	公園施設の改修率	%				60	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A				130,746	
	(1)現金を伴う支出 (千円)				129,841	
	事業費(支出済額)				127,089	
	償還金利息				0	
	人件費合計(①+②+③)				2,752	
	①常時勤務職員等の給与等				2,590	
	②会計年度任用職員の報酬等				0	
	③退職金相当額				162	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				905	
	①減価償却費				0	
	②退職給与引当金繰入額				905	
	③不納欠損額				0	
	④その他( )				0	
	行政収益(事業収入) B				43,700	
(3)現金を伴う収入 (千円)				43,700		
①分担金及び負担金 c				0		
②使用料及び手数料 d				0		
③国庫支出金				18,000		
④県支出金				0		
⑤その他( 起債 )				25,700		
(4)現金を伴わない収入 (千円)				0		
収入未済増減額				0		
収支差額(純費用) A-B E				87,046		
分析指標	項目	公園施設の改修率			60	単位 %
	1単位あたりの総費用 A/F (円)				2,179,100.00	
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)				200.05	435,121
	受益者負担率 (C+D)/A (%)					0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	公園利用における安全性を確保するため、引き続き、老朽化した遊具の改修を進めることが必要 土砂災害警戒区域内に位置する公園の安全調査、対策を引き続き進めることが必要
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	公園利用者の安全・安心のため、老朽化した遊具改修や法面对策工事の実施により、継続的な安全対策を推進した。
(3) 令和2年度末時点の課題	公園利用者における安全性を確保するため、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要 遊具改修だけでなく、施設改修については、老朽化や破損状況に応じて、適宜、長期的な視野に立った改修計画の修正が必要 さらに、土砂災害警戒区域に位置する公園の法面について定期的な安全確認を行うとともに、計画的に対策を進めることが必要
(4) (3)解決のための今後の取組	公園利用者や近隣住民の安全・安心のため、遊具点検の結果等に基づき、適宜長寿命化計画の見直しを行った中で改修を進めるとともに、老朽化が進むトイレや管理棟などの施設についても、計画的な補修や改修を行う。 また、土砂災害警戒区域に位置する公園の法面の定期的な安全確認を実施するとともに、計画に基づき対策を進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
		ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
	○	エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
	○	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの
	エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの	
	オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
(2) 財政的な特徴	③ 事業期間	
		ア=恒久的に実施するもの
	○	イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの
		エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和2年度支出済額	
	○	ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上～300,000千円未満
		ウ=30,000千円以上～100,000千円未満
	エ=5,000千円以上～30,000千円未満	
	オ=5,000千円未満	
⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合		
○	ア=80%以上	
	イ=50～80%未満	
	ウ=30～50%未満	
	エ=10～30%未満	
	オ=10%未満	
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		
○	ア=10%未満	
	イ=10～30%未満	
	ウ=30～50%未満	
	エ=50～80%未満	
	オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
3. 施設等維持管理	



## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	遊具及び施設の老朽化が進んでいる。 少子超高齢化が進むとともに、公園利用者の年齢層及びニーズが変化している。 公園利用者の年齢層及びニーズの変化による施設の更新が求められる一方、より長く安全に使用し、利用促進・有効活用が図られる対策が必要となってくる。	
	公園施設長寿命化計画については、神奈川県内16市2町において策定されている。	
市民ニーズ	把握方法	公園課への直接の要望だけでなく、地域に密着し、市民活動を支える業務を担う市民センター、公民館への苦情・要望をもとに、市民ニーズの把握を行うとともに、必要に応じて要望者と直接面談し、詳細に要望内容の聞き取りをした。 また、公園パトロール及び公園管理業務の受託者からの報告により状況の把握を行った。
	把握内容	公園の遊具やフェンスなどの施設の老朽化による破損の補修や、樹木の剪定、伐採作業等
	対応等	要望確認や遊具点検、現地の確認結果に基づき、施設の補修や更新、樹木の剪定、伐採作業を行った。

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	老朽化した遊具の計画的な更新を行うことで、利用者の安全・安心の向上に寄与した。 土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の対策工事を実施し、安全性向上が図られた。	
	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	公園利用者や近隣住民の安全や利便性の向上に寄与するため、遊具点検結果等に基づき、適宜長寿命化計画の見直しを行った中で改修を進めるとともに、老朽化が進むトイレ、管理棟などの施設についても、計画的な補修を行うことで事故の未然防止を図る。 土砂災害警戒区域に位置する公園の法面の定期的な安全確認に取り組むとともに、緊急性のある法面から順次計画的に対策を講じ、公園利用者や近隣住民等を災害から守る。	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
8	都市公園の新設及び改良工事の執行について	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------